

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公表番号】特表2007-500205(P2007-500205A)

【公表日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-531007(P2006-531007)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月25日(2007.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

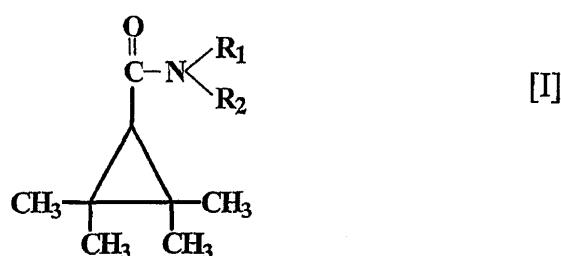
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

精神障害を治療する薬剤を調製するための、式Iの化合物の使用。

【化1】



(式中、R<sub>1</sub>およびR<sub>2</sub>は、同一であるか異なっており、水素およびC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル基から独立に選択される)

【請求項2】

R<sub>1</sub>またはR<sub>2</sub>の一方がC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル基であり、他方が水素である、請求項1に記載の式Iの化合物の使用。

【請求項3】

前記C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル基が直鎖または分枝鎖アルキル基である、請求項1または2に記載の式Iの化合物の使用。

【請求項4】

前記C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル基がメチル基である、請求項1に記載の式Iの化合物の使用。

## 【請求項 5】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基がメチル基である、請求項 2 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 6】

前記精神障害が双極性障害である、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 7】

前記化合物が、式 I の化合物と薬剤として許容される担体を含む薬剤組成物として投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 8】

前記化合物の投与経路が、経口、非経口、局所、経皮、直腸、および口腔投与からなる群から選択される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 9】

前記化合物の投与経路が、経口および非経口投与からなる群から選択される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 10】

前記非経口投与経路が、静脈内、筋肉内、腹腔内、および皮下投与からなる群から選択される、請求項 8 または 9 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 11】

前記化合物が、1日当たり約 1 mg から約 1 0 0 0 mg の範囲で投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

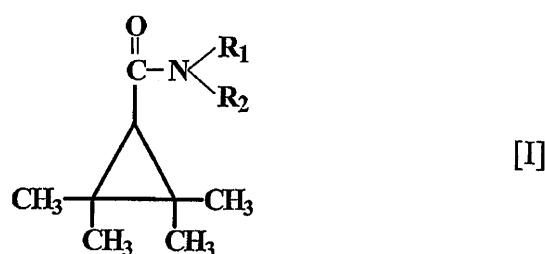
## 【請求項 12】

前記化合物が、1日当たり約 2 0 mg から約 5 0 0 mg の範囲で投与される、請求項 1 に記載の式 I の化合物の使用。

## 【請求項 13】

薬剤として許容される担体、および有効成分として治療上有効量の式 I の化合物を含む、精神障害を治療するための薬剤組成物。

## 【化 2】

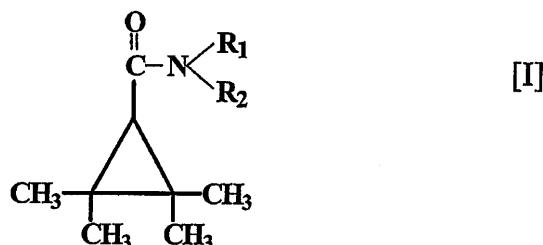


(式中、R<sub>1</sub> および R<sub>2</sub> は、同一であるか異なっており、水素および C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基から独立に選択される)

## 【請求項 14】

MIPシンターゼの阻害剤を調製するための、式 I の化合物の使用。

## 【化 3】



(式中、R<sub>1</sub> および R<sub>2</sub> は、同一であるか異なっており、水素および C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基から独立に選択される)

【請求項 15】

R<sub>1</sub> または R<sub>2</sub> の一方が C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基であり、他方が水素である、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 16】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基が直鎖または分枝鎖アルキル基である、請求項 14 または 15 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 17】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基がメチル基である、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 18】

前記 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル基がメチル基である、請求項 15 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 19】

前記 MIPシンターゼが哺乳動物 MIPシンターゼである、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 20】

前記 MIPシンターゼが哺乳動物脳 MIPシンターゼである、請求項 14 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 21】

前記 哺乳動物 MIPシンターゼがヒト MIPシンターゼである、請求項 19 に記載の式 I の化合物の使用。

【請求項 22】

前記 哺乳動物脳 MIPシンターゼがヒト脳 MIPシンターゼである、請求項 20 に記載の式 I の化合物の使用。